

# 古事記めぐり旅

Vol. 6

身近な場所にある古事記ゆかりの地をめぐってみませんか？

# 春日大社

かすががたいしや

## 日本国の創世に武神の力あり

今から約1,300年前、平城京鎮護のため、白い鹿に乗って強大な力を持つ武神が御蓋山に降り立ちました。平城京の守護神であり、ひいては国の守り神、ご祭神として春日大社に祀られるタケミカヅチノミコトです。

『古事記』でも日本国創世の重要な場面で登場します。「神生み」のくだりでは、イザナキノミコトが火の神の首を切り落とした際、剣についた血が飛び散って生まれた神と記されます。「国譲り」の段では大国主神に、日本の国を高天原の神々に譲るよう談判。この時、大国主神の子の一人が力比べを挑むも、その手を握りつぶし、体を投げ飛ばして圧倒的な



力で一ひねり。国譲りが完成し、これが相撲の起源とされています。

その後、大和を平定する「神武東征」でも、苦戦する神武天皇の一行をタケミカヅチの剣の威光が救ったとされています。御蓋山の中腹に社殿を構える世界遺産の春日大社は、ほぼ20年に一度行われてきた「式年造替」を平成27～28年に迎えます。社殿や調度を新調・修繕し、ご神威を力強く若々しくするこの最も重要な儀式を記念して、禁足地の御蓋山浮雲峰でも期間限定で参拝ができるようになります。遥拝所の鳥居から神降る山の頂を拝めば、厳かな空気に包まれます。

「春日大社」  
 奈良市春日野町160  
 ☎0742-22-7788

「春日若宮おん祭」  
 雅やかな王朝絵巻が繰り広げられる「お渡り式」は12月17日(水)。国の重要無形民俗文化財指定。  
 12月15日(月)～18日(木)



## 大古事記展

五感で味わい、愛と創造の物語

大古事記展には、春日大社が所蔵するご神宝・禽獣葡萄鏡が展示されています。中国唐時代の大型の海獣葡萄鏡で、文様に獅子、孔雀、龍などさまざまな鳥獣が表され、その間に葡萄唐草文が配されています。後醍醐天皇の所持品で、後に春日大社末社金龍神社の神鏡となったと伝わります。

好評の大古事記展ですが、12月14日(日)の会期終了日が迫ってきました。この機会を逃さず、ぜひご観覧ください。

奈良県ならの魅力創造課  
 ☎0742-27-8975 FAX 0742-27-7744



重要文化財「禽獣葡萄鏡」春日大社蔵



「鹿みくじ」  
 一刀彫の鹿みくじ。陶器の白鹿は式年造替記念。鹿は「神の使い」であり、春日大社のシンボル。



うきぐものみねうはいじよ  
 「浮雲峰遥拝所」  
 前期12月20日(土)まで。後期1月8日(木)～3月20日(金)まで。行事などで拝観できない日もあるので、お問い合わせください。